

0050 | 文学

2 単位（通信授業 2 単位）

佐久間保明教授、遠矢龍之介講師

授業の概要と目標

ここでは文学が言語芸術であることを認識することがまず要請される。一般的には、文学は隣接するジャンルである歴史や哲学や思想などと同じような内容と性質を持つものであるように思われがちだが、文学がそれら以上に言語による芸術表現であることを認識しながら、文学の大まかな輪郭や相貌を提供することが本科目の概要である。そこから文学という概念を知的に把握して、受講生みずからが主体的に文学作品に接して自分なりの深い文学体験を明瞭に自覚しつつ、その結果を客観的に報告できるようにすることを目標とする。

課題の概要

○通信授業課題

2 単位の通信授業であるので 2 回のレポートが課せられる。それぞれ教科書の内容に即した課題が主であるが、一方で個々の文学作品に接することが求められる。

* 課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

授業と言っても面接授業は行われない。まず教科書をよく読んで内容をよく理解した上で、みずから選んだ作品によって自分なりの文学経験を深めて、それを明瞭に自覚することが肝要となる。

成績評価の方法

◎科目試験

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1~4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：佐久間保明『文学の新教室』（ゆまに書房 2007 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）

その他

教材以外の参考文献については上記図書の巻末を参照のこと。